

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム佃の里

目標達成計画

作成日: 令和3年4月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	職員の入れ替わりもあり、消防訓練に参加できていない職員がいることを踏まえ、次回訓練時には参加できるように配慮することが望まれる。また、入居者情報が一覧で分かる書類を整備し名札の準備もあるので、ADLが確認できる写真を追加するなどして避難所で円滑に本人確認できる工夫を期待する。	できるだけ詳しく情報を記載して、誰が見ても間違いがないように作成して、災害時にしっかり役立てれるような物を作る。また、避難訓練もみんなが参加可能な時を選び実際の災害時に慌てずしっかりと行動ができるようにする。	災害時にどのような情報が必要か、どこまでの個人情報も載せても大丈夫かなどの検討を行い、できるだけ情報共有ができるようにして、職員みんなが実際の災害時に対応していけるようにする。実際の避難訓練時にも書類を持ち出すタイミングなどの練習も実施する。	4ヶ月
2	6	コロナ禍により家族と入居者が触れ合う機会が減っている現状が窺える。例えばホームだよりを定期的に発行して入居者写真を掲載するなど入居者の様子を積極的に伝え、家族の安心感に繋がる今後の取り組みに期待する。	年に3~4回の通信を毎月の利用者様の生活状況やレクリエーション・イベントの風景などを掲載し、ご家族への一言を添えて配信する。	担当を決め、毎月掲載する内容などを決め職員全体で写真や利用者様の状況などを観察し、作成して行く。また、日々の利用者様をかけるようにして、家族への言葉を添えられるようにする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。